

第 5 学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者

1. 題材 「マナーでつながろう 国際文化」(国際理解)

2. 指導にあたって
 こんな子どもだから

1 学期の総合的な学習の時間に、自分たちの興味・関心のある国について、面積や人口など国の概要について調べている。また、「食」について、家庭科で卵料理やゆで野菜を作るとともに「なぜ食べるのか考えよう」を学習し、栄養のバランスを考えながら食べなければいけないという意識をもっている。 (題材)

学習プリントなどに自分の考えを書いていると、友だちの前で発表することができる。また、友だちの意見も相手の方を向いてうなずきながら聞くことができる。 (体験・伝え合う活動)

グループの友だちやクラスの友だちと協力して活動することができる。昨年、他学年の子ども達に総合的な学習の時間において、自分たちの作った表現物をもとに発表することができた。 (人とのかかわり)

こんな教材で

いろいろな国の食のマナーについて調べ、4年生に向けて発表する活動を行う。

「食」という自分と関係が深い題材のため、一人一人が意欲的に追究できる。

身近な人にインタビューしたり、いつでも調べたりできるので、意欲の継続につながる。

いろいろな国の「食」に関することを調べることで、その国の特徴を知り、自分の国の文化や習慣と比べることができる。

人とのつながりや国際交流で大切なことは、相手の文化や習慣を知り、相手を理解することから始まることを知るきっかけとなる。

自分の食事のマナーを見直し、正しいマナーを身につけることができる。

表現物を使って、4年生に分かりやすく発表することができる。

こんな手立てを(人とのかかわりは)

つ	課題を明確にもち、自分の考えをはっきりさせるために、次のことを行う。
か	・学校栄養職員の先生に給食の献立にある世界の料理を聞く。
む	学校栄養職員の先生の思いや願いを考えながら話を聞く。
さ	調べたことを表現物にまとめ、4年生に分かりやすい発表になっているかを考えさせるために、次のことを行う。
ぐ	・中間発表会を行い、アドバイスをもとに見直す時間を設定する。
る	グループの友だちと協力して調べる。 G Tの方の思いや願いを考えながら聞く。
ひ	学習の達成感や満足感を味わわせるために、次のことを行う。
ろ	・ワールドマナー交流会を行う。
げ	・4年生に自分たちが作ったものを発表する。
る	4年生のことを考えて分かりやすく発表する。

3. 目標

興味・関心・意欲（価値的・態度的側面）

- ・いろいろな国の食事のマナーについて意欲的に調べることができる。

伝え合う活動（技能的側面）

- ・自分の意見を分かりやすく伝えたり，友だちと同じところはないか考えながら話し合うことができる。

自分の生き方（知識的側面）（価値的・態度的側面）

- ・正しいマナーを知ることができる。
- ・外国のマナーについて進んで調べ，その国の文化を知り相手を深く知ろうとする気持ちをもつことができる。

人とのかかわり（技能的側面）

- ・G Tや地域の人と正しい言葉遣いでインタビューしたり，友だちと協力しながら調べたりして，相手のいいところを見つけることができる。

4. 学習計画（計 2 1 時間）

自己存在感を持たせる支援 共感的人間関係を育成する支援 自己選択・決定の場の工夫

段階	時間	学習活動	人とのかかわり	指導・支援 は個別の支援	評価
つかかむ	1	1. 給食の献立を見ながら自分たちの好きな料理について話し合う。 ・学校栄養職員の先生に給食の献立にある世界の料理の話聞く。 ・日本以外の料理がたくさんでているよ。 ・給食の中に，世界の家庭料理がでているんだね。	友だちと給食の献立をもとに話し合う。	子どもたちが意欲をもって取り組めるように給食献立を拡大して掲示する。 <input type="checkbox"/>	自分の考えを友だちの前で話している。 (技能的側面)
	1	2. 自分たちが知っている食事のマナーについて話し合う。 席を立てて食べない。 大声で話さない。 食器をもって食べる。 食事のあいさつをする。 ・外国の国は，日本と同じマナーじゃないはずだよ。	友だちの意見を聞く。	自分たちの食生活を見直すために給食や食事の時に注意された経験をふり返させる。 <input type="checkbox"/>	
	1	3. 話し合いや題材名をもとに課題をつくり，調べる計画をたてる。 (1) 学習課題をつくる。 いろいろな国の食やマナーを調べ，マナーの達人になろう。		これまでの学習を想起しやすいように，学習の足跡を掲示しておく。 <input type="checkbox"/>	

	1	2) 一人一人の課題を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、日本が好きだから日本のマナーのことが知りたいな。 ・私は、1学期にフランスの事を調べたけど、マナーは知らないのだからくわしく知りたいな。 		なぜ、その課題を調べたいのかわかりも考えさせる。 <input type="checkbox"/> 選決 考えの思いつかない子には、今までの学習をふり返らせるため掲示物の側まで連れていく。	
	1	(3) 課題解決のための計画をたてる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくのお母さんに聞いてみよう。 ・インターネットや図書の本で調べよう。 ・君のお父さんに聞いてみよう。 		学習の見通しをもち意欲的に取り組めるように計画をたてさせる。 <input type="checkbox"/> 自己 興味・関心のある課題作りをするためにGTと話の内容を打ち合わせしておく。 <input type="checkbox"/> 自己	課題解決のための計画を立てることができる。 (技能的側面)
さ ぐ る	4	4. 課題を解決するための追究活動をする。 調べる国それぞれの食やマナーを体験する。 インターネットで調べる。 GTに質問をする。 図書室の本で調べる。	GTから、それぞれの国のマナーについて教えてもらう。	スムーズに調べることができるように、資料を準備しておく。 <input type="checkbox"/> 選決	意欲的に調べている。 (価値的・態度的側面)
	1	5. 調べたことをもとに表現物にまとめるための話し合いを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真は、この部分を使うと分かりやすいね。 ・表現物の中に、この資料をのせるよ。 	グループで協力して話し合う。	今までの学習をふり返り、よりよい表現物をつくりたいという意欲をもたせる。 <input type="checkbox"/> 自己	友だちの意見をしっかりと聞いている。 (価値的・態度的側面)
	2	6. 調べたことをまとめる。 (1) 発表の準備をする。 ・発表原稿 ・表現物	グループで協力して調べる	多様な考え方をもちさせるために発表のモデルを提示する。 <input type="checkbox"/> 選決	意欲的に発表の準備をしている。 (価値的・態度的側面)
	2	(2) さらに分かりやすくする工夫について話し合う。		グループの中に入れない子には	

		<ul style="list-style-type: none"> ・字が多すぎるよ。 ・見やすくするためにもっと絵を入れよう。 		<p>声をかける。</p>	
	2	7. 中間発表会をする。	他のグループの発表をしっかりと聞く。	自分や友だちのよさに気づかせるためアドバイスカードを使う。 選決	相手を意識して伝え合う活動を行っている。
	1	(1) 中間発表を行い、お互いの発表にアドバイスをする。		4年生に分かりやすいように見直しをさせる。 選決	(価値的・態度的側面)
	1	(2) アドバイスをもとに付加修正を行う。			
ひ ろ げ る	2	8. ワールドマナー交流会を行う。	各グループの発表を聞き合う。	友だちのよさに気づかせるために承認の言葉かけを行う。 共感	学習で分かったことを自分の生き方とつないで考えている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いただきますやごちそうさまの大切さを4年生にも伝えたいな。 ・マナーは国によってちがうからそれを知ることが大切なんだよ。4年生もわかって仲良くしてほしいな。 		発表に自信の持てない子には、自分の発表原稿を見るよう声をかける。	(価値的・態度的側面)
	1	9. 4年生に調べたことを発表する。	4年生に調べたことを発表する。	4年生のことを考えて場づくりを行い、分かりやすく発表するように声をかける。 共感	
	1	10. 単元のふり返しを行う。		学習プリントを用意し、自分のがんばったところを書かせ、自分のよさに気づかせる。 自己	これからの自分の生き方を見つけることができ、友だちのよさに気づいている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが調べたことが4年生に伝わってうれしいな。 ・他の学年にも伝えたいな。 ・国によって違いはあるけどその国のよさがあるね。 ・日本では、あまり行儀がよくないことでも、その国にとっては、いいことなんだね。仲良くするためには、知ることが大切だね。 			(価値的・態度的側面)

第 5 学 年 ○ 組 本 時 学 習 指 導 案

指 導 者

5 . 本 時 平 成 年 月 日 () 第 校 時 場 所 教 室

6 . 本 時 について

目 標

<p>伝え合う活動（技能的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが調べたことと友だちの調べたことを比べて話し合うことができる。 <p>自分の生き方（価値的・態度的側面）(知識的側面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを話したり，聞いたりすることで自分や友だちのよさに気づくことができる。 <p>人とのかかわり（技能的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで協力して発表したり，友だちの発表を一生懸命聞いたりすることができる。
--

前時までに

<p>自分の課題をもとにグループで表現物をつくりあげ，付加修正を行っている。</p> <p>自分たちが作り上げたものを，早く友だちに発表したいという意欲をもっている。</p>

本時の手立て

<p>発表がしやすいように場づくりの工夫を行う。</p> <p>話し合いカードを用意し，相手を意識した話し方・聞き方をさせる。</p> <p>学習プリントを用意し，発表グループの内容について話し合わせる。</p>
--

7 . 準備

児童 話し合いカード・表現物・発表原稿
 教師 学習プリント

8 . 展開 (1 9 / 2 1)

自己存在感を持たせる支援 自己 共感的人間関係を育成する支援 共感 自己選択・決定の場 選決

学 習 活 動	人とのかかわり	指 導 と 支 援 は個別の支援	評 価
<p>1 . 本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 全体のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> ワールドマナー交流会をしよう。 </div> <p>(2) 話し合いカードに自分のめあてを書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> ・自分の意見を相手に分かりやすく伝えます。 </div>	<p>友だちの発表を聞く。</p>	<p>本時のめあてを明確にもたせるために前時の活動を想起させる。</p> <p style="text-align: right;">自己</p> <p>話し合いカードに自分のめあてを書かせる。</p> <p style="text-align: right;">選決</p>	

2. ワールドマナー交流会を行う。

日本・韓国
バングラデシュ

相手の反応を見たり，聞いたりしながら発表する。

発表しやすいように場づくりの工夫を行う。

共感

3. 今までの学習をふり返り，自分の生き方につなげて考える。

友だちの話でいいところを見つけながら聞き合う。

発表に自信のもてない子には，自分のファイルを見るように声をかける。

- ・おはしの使い方にはいろいろなマナーがあるんだな。気をつけて使おう。
- ・韓国では年上の人をとて大事にしているからまねしていきたいな。
- ・ラマダン相手の気持ちを理解する大事な考えだから，4年生にも伝えたいな。

4. グループで話し合う。自分の思いや願いを表現物のどこで発表するか話し合う。

グループで協力して話し合う。

考えが停滞しているグループには，他のグループの考えを参考にさせる。

選決

5. 本時のまとめを行う。

友だちの考えをあたたく聞き合う。

今までの学習をふり返らせるために学習ファイルを準備しておく。

選決

自分のよさや友だちのよさに気づくことができる。

(価値的・態度的側面)

- ・わたしの今日のめあては，自分の意見を相手に分かりやすく伝えるだったけど，さんがわたしの話を真剣に聞いてくれてうれしかったです。
- ・どの国にも食事をするためにマナーがあることを4年生に教えたいです。

話し合いのめあてに対しても書かせ，自分のがんばり，友だちのよさに気づかせる。

共感

第 5 学 年 ○ 組 本 時 学 習 指 導 案

指 導 者 T 1
 T 2

5 . 本 時 平 成 年 月 日 () 第 校 時 場 所 室

6 . 本 時 について
目 標

伝え合う活動（技能的側面）
・自分たちが調べたことと友だちの調べたことを比べて話し合うことができる。

自分の生き方（価値的・態度的側面）（知識的側面）
・調べたことを話したり，聞いたりすることで自分や友だちのよさに気づくことができる。

人とのかかわり（技能的側面）
・グループで協力して発表したり，友だちの発表を一生懸命聞いたりすることができる。

前時まで

自分の課題をもとにグループで表現物をつくりあげ，付加修正を行っている。自分たちが作り上げたものを，早く友だちに発表したいという意欲をもっている。

本時の手立て

発表がしやすいように場づくりの工夫を行う。
話し合いカードを用意し，相手を意識した話し方・聞き方をさせる。
学習プリントを用意し，発表グループの内容について話し合わせる。

7 . 準 備

児童 話し合いカード・表現物・発表原稿
教師 学習プリント

8 . 展 開 (1 9 / 2 1)

自己存在感を持たせる支援 自己 共感的人間関係を育成する支援 共感 自己選択・決定の場の工夫 選決

学 習 活 動	人 と の か か わ り	T 1 の 指 導 と 支 援 は 個 別 の 支 援	T 2 の 指 導 と 支 援 は 個 別 の 支 援	評 価
<p>1 . 本 時 の め あ て を 確 認 する。 (1) 全 体 の め あ て を 確 認 する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> ワールドマナー交流会をしよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> ・ワールドルーム交流会の時，全校生徒の前で発表したね。 </div> <p>(2) 話 し 合 い カ ー ド に 自 分 の め あ て を 書 く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> ・友だちの発表でいいところを見つけながら聞きます。 </div>	<p>友だちの発表を聞く。</p>	<p>本時のめあてを明確にもたせるために前時の活動を想起させる。 自己</p> <p>話し合いカードに自分のめあてを書かせる。 選決</p>	<p>前時の活動を想起しやすいように写真を掲示しておく。 選決</p>	

2. ワールドマナー交流会を行う。

中国・フランス
インドネシア

3. 今までの学習をふり
返り，自分の生き方
につなげて考える。

- ・ 中国の食べ物は病気を予防する大切なものだとわかったから，僕も食べ物を大切にしたいな。
- ・ 楽しく食事をするためにマナーがあるんだな。
- ・ ラマダンは相手の気持ちを理解する大事な考えだから4年生にも伝えたいな。

4. グループで話し合う。
自分の思いや願いを
表現物のどこで発表
するか話し合う。

5. 本時のまとめを行う。

- ・ ぼくの話し合いのめあては，友だちのいいところを見つけるでした。君は4年生以外の学年にも伝えたいと行ってすごいなと思いました。
- ・ 西洋とアジアのマナーは，違うけれど楽しく食事をするためにマナーがあることを4年生に教えたいです。

相手の反応を見たり，聞いたりしながら発表する。

友だちの話でいいところを見つけながら聞き合う。

グループで協力して話し合う。

友だちの考えをあたたく聞き合う。

発表しやすいように場づくりの工夫を行う。

共感

今までの活動をふり返らせるために学習課題や自分の課題とつないで考えさせる。

自己

想起しやすいように自分たちが作った表現物を掲示しておく。

選決

考えが停滞しているグループには，他のグループの考えを参考にさせる。

選決

話し合いのめあてに対しても書かせ，自分のがんばりや友だちのよさに気づかせる。

共感

発表に自信のない子には，自分のファイルを見るように声をかける。

自分とつなげて考えることができない子には学習ファイルを見せ，何がわかったかを考えさせる。

考えが停滞しているグループには，他のグループの考えを参考にさせる。

選決

考えが停滞している子には，自分のがんばりや友だちのよさに気づくように声をかける。

自分のよさや友だちのよさに気づくことができる。

(価値的・
態度的側面)